

令和2年4月	<h1 style="margin: 0;">直 播 情 報</h1> <h2 style="margin: 0;">第 1 号</h2> <p style="margin: 0;">(カルパーコーティング)</p>	JA 能美 南加賀農林総合事務所
--------	--	---------------------

1. ほ場の準備・土壌条件

(1) 耕起前に雑草が多発している場合は、茎葉処理剤を散布する。

除草剤名	使用量	散布液量	使用目安
ラウンドアップマックスロード	200ml/10a	50L/10a	耕起前(雑草多発時)
バスタ液剤	300ml/10a	100L/10a	耕起 15 日前 (雑草多発時)

(2) 高低差の大きい圃場は耕起前に土を移動させ、均平にする。

(3) 代かきは、均平化に努めるように丁寧に行い、枕地等の旋回部分は、練らないように注意する。

(4) 本代かきは、播種の3～5日前に行い、播種前日まで湛水状態とし、播種前日に落水する。播種時の土壌の硬さは播種溝が埋まる柔らかさにする。

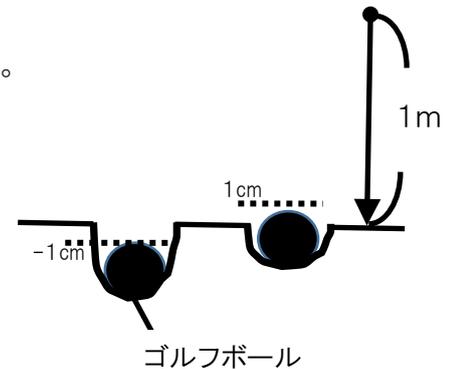
2. 播種作業

(1) 播種時期は、日平均気温が15℃以上になる時期(平年値 4 月 30 日)。

4 月末～5 月上旬頃を目安とする。

(2) 播種深度は 0.5～1cm を目安とする。1cm 以上の深播きは出芽率を低下させる。土壌の硬さが柔らかいと深く入り発芽不良となる。硬すぎると表面播きとなり、鳥害を受ける。

(3) 播種時の土壌の硬さは移植以上とし、代かきと播種の間隔で調整する。田面の硬さは、ゴルフボールを1mの高さから落下させた場合に田面からの露出高さ1～-1cmを目安とする。



(3) 播種量及び施肥量 (品種: コシヒカリ)

播種量	施肥量
乾籾 2～2.5 kg/10a	BBコシ直播一発くん 20～25 kg/10a

(4) 播種方法

浅水状態(0～2cm)で播種する。高速で播種をすると水圧で土壌が種子を覆う恐れがあるので注意する。

※播種作業終了後は落水する。

3. 播種後の水管理

(1) 播種後7～10日間程度は、落水状態を維持して(土壌表面に亀裂が入る程度まで)、発芽・発根を促す。

(2) 落水しても田面に停滞水が残る場合は、溝切り作業を行う。

(3) 田面が白く乾き、亀裂が生じ始めたら、潤土状態を保つためゆるやかに入水する。(水は溜めない。かけ流す。)

(4) 強雨が予想される場合は、湛水する。

(5) 出芽が揃ったら、入水し、初期除草剤を散布する。(4、除草体系を参照)

4. 除草体系

(1) 初期剤＋一発処理剤体系を基本とする。

稲1葉期に散布する際には、稲及びノビエの葉令を必ず確認する。

(2) 入水後1日おいて、水が落ち着いてから散布する。

(3) 薬剤の効果を高めるため、除草剤の散布後3日間は湛水状態を保ち、7日間は強制落水しない。

【除草剤の使用時期と注意点】

	除草剤名	使用量(10a)	使用時期		備考
1 回 目	ポデーガードプロ1キロ粒剤	1kg	播種直後～	ノビエ3.5葉期まで 収穫90日前まで	湛水状態で散布
2 回 目	ベンケイ1キロ粒剤	1kg	稲1葉期～	ノビエ3葉期まで 収穫90日前まで	入水後
	バッチリジャンボ	小包装 10個	稲1葉期～	ノビエ2.5葉期まで 収穫90日前まで	入水後
	シリウスエグザ1キロ粒剤	1kg	稲1葉期～	ノビエ2.5葉期まで 収穫90日前まで	入水後
随 時	レプラス1キロ粒剤	1kg	稲2葉期～	ノビエ4葉期まで 収穫60日前まで	残草した場合

※ 1回目に播種時処理(ポデーガードプロ1キロ粒剤)＋2回目の体系処理が望ましい

